



神奈川歯科大学 理事長

鹿島 勇

俯瞰力

はじめに

新年明けましておめでとうございます。

生成 AI の技術革新の波は、2045 年までに 3 回くると言われます。現在の能力と速度は、一波ごとに 1,000 倍ずつ向上し、3 回目には 10 億倍に達することになります。それは、社会構造はもとより教育体系をも激変させていくことになるでしょう。私達は時代の変化に対応していくための大局観を磨いておかねばなりません。

そこで今年の標題は、高い視座から新しい情報や知識を吸収し、本学の価値の創造に活用していく力、“俯瞰力”としました。

5 分間の狙撃手

学生確保の新しい試みとして、訪問先を都内の医学部受験専門予備校に的を絞りました。そこは私達にとって完全にアウェーであり、新しい発見の連続でした。まず、ほとんどの担当者が歯科領域の情報を知らないこと、そして関心すら無かったことは意外でした。また、1 年間の授業料が本学歯学部 3～4 年分に相当することにも驚きました。

私達は、まず歯科に興味を持っていただき、もっと知りたいという好奇心を誘うための様々な策を講じました。つまり、私達を受け入れてくれるか否かの勝負が、初対面からの 5 分間で決まるからです。彼らが注目したのは、理事長自らの訪問と日本橋の歯科・健脳クリニックそして裸眼で視認可能な 3D 技術による人体標本像でした。彼らの心の中に入り込めた時、医療と芸術そしてサイエンスへと話題をテンポよく展開していきます。それを確信できなかった場合は、早目に切り上げて次の訪問先へと移動します。

足を使って体験する屈辱と挫折感、一方で達成感そして共感を介した新たな人との巡り合い、その繰り返しが本学の未来へと繋がっていきます。それは正に、相手の表層を貫き基底を射抜く 5 分間の狙撃手といえるでしょう。

コンステレーション構想

コンステレーションとは、星と星を結んだ線で形付けられた星座のことを意味します。この構想の目的は、47 都

道府県内に各々一校ずつ高校の本学への系属化を図り、18 歳人口減少対策のためのプラットフォームとすることです。系属化とは、法人同士が同一母体となる附属化とは異なります。つまり、教育・運営・経営は独立の立場をとりつつ互いの特性を利用し合うことです。例えば、一部カリキュラムの乗り入れによる本学入学後の単位認定等、従来の高大連携を一次元高めた関係構築を意味します。

第一号の系属校として、横須賀市内の私立高校と検討を重ね、合意書の締結に至りました。さらに九州の私立高校とも系属校としての話し合いが始まります。

西から東へ日本列島を縦断する 47 の点を結んだ線は、本学の未来が反映された特別な星座とならねばなりません。

医芸一魂

医芸一魂とは、医療と芸術は切り離すことのできないものであり、「失われた命の全体性を取り戻すための営み」とされています。つまり、失われた身体バランスをサイエンスを基に整えるのが医療であり、失われた精神を五感を通して取り戻すのが芸術ということです。また、西洋にはアートサイエンスという言葉があります。アートとサイエンスとの関係は、200 年前のイギリスのウェブスター辞典にも記されており、その起源はアリストテレスのギリシャ時代とも言われます。私達の分野に当てはめると、医療の理論はサイエンスであり、実際の治療はその人の感性が反映されるアートということになります。それは、私達が医療人であると同時にメディカルアート・サイエンティストであらねばならないことを意味します。

では本学にとってアートとは何でしょう。例えば「新本部棟をアートする」を考えた時、まず「Only One であり好奇心を抱かせ感動を与えるものとは？」と問題を提起します。それは本学の医療理念である「生命に対する畏敬の念」に従って、「一つの生命体を形容する建物とすべき」と定義します。その定義は、サイエンス（建築・デザイン工学）を基に光の強弱によって建物自体が変化する建造物として形作られます。完成した本部棟は生命体を表現した一つの作品となります。

私達にとってアートとは、ある課題に対して問題提起し、それを自分流に定義づけることです。

おわりに

物事の判断や意思決定の指標としてデータやエビデンスに拘るのは、長い研究者生活を送ってきた私の性（さが）かもしれません。しかし物事の交渉そのものは、エビデンスよりもエピソードの方が数倍効果的であったことを回想しながら理事長として 16 回目の新年を迎えます。

新年のご挨拶



神奈川県立歯科大学・神奈川県立歯科大学短期大学部 学長 櫻井 孝
謹んで新春のお喜びを申し上げます。2025年における皆様の御健勝と御多幸を御祈念申し上げます。

さて、既に一部お知らせしておりますが、本学では4年生が学年末に受験する共用試験が2024年度から公的化されました。共用試験の公的化に伴い、試験に合格することを要件として、歯学生が参加する臨床実習における歯科医療行為が、歯科医師の指導監督の下に歯科医業として法的に担保されることとなりました。本学では、12月から2月にかけて共用試験を実施し、2025年度からは公的試験に合格した学生さん達が、新生された学生デンティストとして附属病院、ならびに横浜研修センター等で歯科医業に従事することになります。新たな学生デンティストの誕生を今から楽しみに致しております。

社会では、歯科衛生士、看護師の不足が従前から慢性的な問題となっておりますが、昨今では特に地方における歯科医師不足が深刻となりつつあり、高齢化によるリタイアに伴う歯科医療供給体制の崩壊が危惧されております。その様な社会的背景があるにも拘らず、少子化の影響もあり、学生募集は歯学部、歯科衛生学科、看護学科いずれも非常に厳しい状況となっております。つきましては、将来の医療を支える人材育成のために、学生募集について皆様の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。



神奈川県立歯科大学附属病院 病院長 井野 智

人には潜在的に身につけてしまったバイアス（無意識の偏見）や、自分の思い込みや願望を強化する情報に目が行き、そうではない情報は軽視してしまう傾向（確認バイアス）により、本質を見誤ることがあるそうです。経験を積むことで自信をもって仕事に臨むことは大切ですが、AIが導入されつつある医療の現場にあっても、常に冷静さを伴い「もしかして？」の気持ちを忘れずにいたいと思っています。己年生まれの私にとっては、節目の年でもあり、今年も色々なことにチャレンジしながら、患者さんの笑顔・感謝と共に永続性が担保できる程度の果実を得られる附属病院を目指します。本年もご協力のほど、宜しく御願い申し上げます。



東京歯科衛生専門学校 校長 佐々木ひろみ

「有終の美を飾ろう！」年頭になぜと思われるかもしれませんが、「有終の美」とは、「終わり良ければ全てよし」とは違い、最後まで諦めずに歩み続けるその過程と努力が評価される言葉と認識しております。目標に向かって進み続ける決意と覚悟を持ちながら、今年の終わりを美しく締めくくりたいものです。国家試験という大きな山を越えなければならない在校生、並びに新たに歯科衛生士を志す新入生が、この有終の美を実感最後まで諦めず歩み続けられるよう、個々の努力に寄り添った教育に本年も全力で取り組んでいきたい所存です。今後とも本校の教育にご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。



神奈川県立歯科大学同窓会 会長 大館 満

新年、明けましておめでとうございます。5年ほど前に、新型コロナウイルス感染症の蔓延で本部同窓会創立50周年記念式典、祝宴が中止になりました。新型コロナウイルス、インフルエンザとともにまだまだ気を許せない状況が続いていますが今年、令和7年10月18日土曜日に50周年記念式典、祝宴を開催することを決定いたしました。同窓会も変革の時期を迎えております、50周年式典を一つの区切りとして新しい同窓会の形を提案できれば幸いです。

今年の抱負、希望は50周年のお祝いを何とか無事、開催できることです。

あけましておめでとうございます



神奈川県立歯科大学 副学長・大学院歯学研究科長 山本龍生

昨年、大学院は歯学部とともに大学基準協会に機関別認証評価を申請し、実地調査を受けました。大きな指摘はありませんでしたが、今年届く予定の評価結果を受け、改善が必要な点があれば積極的に対応してまいります。少子高齢化が進む日本では、歯科保健医療を含む多くの分野で人材不足が深刻な課題となっております。大学院としては、次世代の歯科保健医療を担う、高度な研究能力と豊かな学識を備え、文化の発展と社会福祉の向上に貢献できる人材の育成に一層努めてまいります。本年も大学院へのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



神奈川県立歯科大学附属横浜クリニック 院長 木本克彦

新年あけましておめでとうございます。現在、横浜駅西口では、魅力的なまちづくりを目指し、官民一体となった大規模な改造構想が進められています。横浜クリニックが位置する鶴屋町エリアでも、「鶴屋町まちづくり勉強会」がスタートしました。まちづくりのコンセプトは「HUMAN ENERGY CORE」。人が集い、街の回遊の拠点となる「ひとにやさしい空間」の創出を目指しており、キーワードは「ひと」です。本クリニックは、このエリアで唯一の医科歯科連携医療機関であるため、「ひとにやさしい医療サービス」を提供することで、新しいまちづくりの一翼を担えればと考えています。今年もダイナミックな一年となりそうですが、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



「賛否両論」

法人事務局長 菅原光則

やっぱり！！綺麗と汚い、美しいと醜い、善と悪といった価値は常に表裏一体の関係にあることを実感した。昨年、私のところに訪れた来客が新しいキャンパスセンターを親での感想が賛否両論であった。個性的な建物は往々にして意見が分かれるものである。ただ、年末に吉報が届いた。海外において二つのデザイン賞を受賞したとのことである。建築に携わった者にとっては少しホッとしたニュースであった。しかしながら、デザイン賞は取ったものの使い勝手はどうなのだろうか？図面上では入念に確認していたもの実際に運用してみると多少の不具合が生じるのは当然のことである。2025年は使いやすく改善できるところは改善し、あとは、慣れるしかないと思っている。最後に心理学者アドラーの言葉を紹介する。「何が与えられたかではなく、与えられたものをどう使うかが重要である」



神奈川県立歯科大学短期大学部同窓会 会長 鈴木幸江

皆様方におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。昨今は、社会情勢が大きく変化し、私たちの生活も大きく変わりました。しかし、こうした中でも、同窓会の絆はさらに深めることが必要と考えております。同窓会は皆様の“心の絆”を基本として成り立っています。その素晴らしい結びつきを大切にし、「母校への貢献」や「社会貢献活動」にも積極的に取り組んでいきたいと考えております。役員一同も皆様の心を“カタチ”にする企画を実現できるよう努力したいと思います。本年も短期大学部同窓会へのご協力をお願い申し上げます。

「ピンクリボンライトアップ 2024 in かながわ」に参加

2024年10月1日（火）、乳がんの早期発見・検診率向上をアピールするイベント「ピンクリボンライトアップ2024 in かながわ」に初参加し、18時から21時までキャンパスセンターをピンク色にライトアップしました。

「あなたとあなたの大切な人を乳がんで失わないように願いを込めて」というスローガンは、“全てのものに対する慈しみの心と生命を大切にする「愛の精神」の実践”という本学の建学の精神に沿うもので、学生・教職員も参加した点灯式では、鹿島理事長が「本学のこの取り組みがピンクリボン啓発の一助になれば」と挨拶されました。

2024年1月に本格稼働したキャンパスセンターは、カラーコンクリートを使用した外壁の「トワイライトピンク」が特徴で、四季折々の光の角度や降雨によって、その表情を変化させ



ます。今回のピンクのライトアップとの調和はとても美しく幻想的で、近くを通りかかった多くの方が写真に収めていました。



KDU キャンパスセンターが「The Architecture MasterPrize 2024」受賞作品に！



本学キャンパスセンターの設計を手掛けた株式会社 Atelier MEME の八木敦之氏が「The Architecture MasterPrize 2024」の建築デザイン-教育施設部門-で受賞しました。この賞は、建築・デザイン・都市計画などの分野における優れた作品に与えられる国際的な賞で、キャンパスセンターのデザインが評価されたことは本学にとっても非常に喜ばしいことです。

横須賀ロータリークラブ主催「ポリオ根絶募金活動」に参加



2024年11月3日（日）、昨年に続き、横須賀ロータリークラブ主催の「ポリオ根絶募金活動」にボランティアとして参加しました。ロータリークラブは様々な社会奉仕に取り組んでいますが、ポリオの根絶に関しては、1979年にフィリピンの子どもたちに予防接種を開始して以来、現在まで活動を継続し、全世界で発症数を99.9%まで減少させることに貢献しています。

本学からは、看護学科の学生4名と教員4名、職員3名の合計11名が参加しました。募金もさることながら、ポリオという病気やその根絶に向けた取り組みを知っていただく事も目的の一つです。参加した学生たちは、道行く方々に笑顔でパンフレットを手渡し、積極的に声をかけて募金活動と周知活動に協力しました。

寄附金は、ポリオ根絶のためのワクチンの予防接種に使用されます。

シミックホールディングス株式会社と包括連携協定を締結

2024年11月28日（木）、シミックホールディングス株式会社と包括連携協定を締結しました。今後迎える超高齢化社会に相応しい新たな歯科医療機関の開院に向け、シミックホールディングス株式会社と連携・協力するとともに、歯科医療で生まれた知見をヒト医療と獣医療に応用し、ペットも含めた家族全員の健康寿命の延命を目指します。



第57回 稲岡祭



学生が輝ける稲岡祭を作りたい

歯学部 3年 岡本悠莉

第57回稲岡祭実行委員長を務めさせていただきました、岡本悠莉です。いろいろなご縁があり、前年度に引き続き今年度も実行委員長を務めさせていただくことになりました。今回は、前回の成功と失敗を活かし、よりパワーアップした稲岡祭を作り上げたいという気持ちで挑みました。実行委員は、前年度参加した学生と今年度新しく参加する学生で構成されており、毎回の会議では前年度作り上げたアイデアと新しいアイデアが融合した様々な面白いアイデアが出てきて、私自身とてもワクワクしました。

今回の稲岡祭のテーマは「ジャカランダ知らないの厳しいっで」でした。このテーマには、日頃から学生と寄り添っているジャカランダを知っていただきたいという気持ちと、ジャカランダとともに成長する学生の輝きを、稲岡祭を通じて見ていただきたいという気持ちが込められており、学生投票を経て決まりました。この願いの通り、稲岡祭準備日から当日までたくさんの学生と触れ合いましたが、みんなとても輝いていました。その光景を目の当たりにし、今年度も実行委員長をやってよかったなという思いでいっぱいになりました。特に、この思いが強くなったのは稲岡祭当日でした。この日の予報は豪雨でしたが、学生の輝きに天気も味方してくれたのか、雨が激しく降り続けることもなく、準備が進んでいきました。そして、稲岡祭が始まり、お客様が入ってきた瞬間、学生たちの笑顔が輝き始めました。笑顔で焼きそばを作ったり、小さな子に笑顔で話しかけたり、たくさんの笑顔であふれた構内に思わず涙が出そうになってしまいました。しばらくすると、ステージが始まり

ました。きれいなダンスを披露するダンス部、迫力の演奏を披露する軽音楽部やPOPS部。稲岡祭のために一生懸命練習してきたからこそその自信に満ち溢れた輝きに圧倒されるばかりでした。そして、裏方としてたくさん支えてきた実行委員の表情も、カッコよさで輝いていました。1日中、たくさんの輝きに触れて、みんなの努力が実を結んだことを実感しました。実行委員同士で会議をする中で、時にはぶつかり合ったり、意見が食い違ったり、なかなか話し合いが上手くいかなかったり、たくさんの困難がありましたが、稲岡祭を成功させたいという思いが、いくつもの壁を乗り越える原動力になり、今回の大成功を生んだのだと思っています。

ハプニングに見舞われながらも、稲岡祭を無事に終えることが出来たのは、ずっと支えてくださった教学部の斎藤さん、浅海さん、河田先生、諸先生方、無茶なお願いも実現できるように協力していただいた企業の方々、稲岡祭のために一生懸命動いてくれた実行委員のみんな、そしてどんな時もそばで支えてくれた副委員長など、多くの人の支えがあったからだと思っています。本当にありがとうございました。そして何より来場してくださった多くのお客様に感謝申し上げます。



教学部だより

歯学部

台湾研修

2024年8月19日（月）～22日（木）に台湾研修が実施され、夏季休暇を利用して歯学部4名の学生が参加しました。この研修は本学オリジナルの研修日程で、台北の歯科診療所見学、市内観光、台湾の医療学校を訪問しました。異国の歯科事情、風習・文化を理解することを研修の目的としており、今回の研修で学生は多くの刺激を受けていました。参加した学生からは「歯科治療の環境の違いや教育における違いが理解できた」「将来の開業を目指す時に今回の知識を役立てたい」「現地の学生と交流ができてよかった」などの感想をいただきました。



短期大学部

2024年度 戴帽式

2024年9月7日（土）、残暑の残る中、戴帽式が挙行了されました。

歯科衛生学科2年生と看護学科1年生は保護者の方々に見守られながら、臨床実習に向けて一人ひとり教員からナースキャップ（男子学生はチーフ）を授けられました。代表学生がナイチンゲール像から授かった火を燭台に灯し、決意を新たに全員で誓いの詞を述べました。

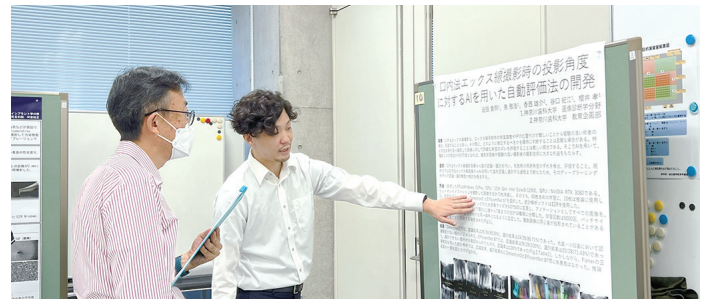


大学院だより

大学院の中間発表が行われました

2024年9月26日（木）に、大学院の中間発表が行われました。中間発表とは、大学院3年生を対象に、学位論文作成に向けた研究活動の進捗状況を確認するものです。大学院生は各自の研究の経過をポスターで発表し、複数の指導教員が研究の方法や結果の解釈などを多面的に評価します。

指導教員は、研究の明確性、論理性、実証性、独創性に加えて、研究倫理の遵守についても評価を行い、大学院生に対して口頭と文書でフィードバックを提供します。この仕組みによって、大学院生の学位論文に向けた研究活動が円滑に進むことが期待されます。



TDH だより

卒業生インタビュー動画をYouTubeにて配信中！

チャンネル登録よろしくお祈いします！



神奈川県歯科医師会 令和6年度交流活性化事業 「中学生・高校生体験プログラム」開催



2024年8月15日(木)、神奈川県歯科医師会のご子息・ご息女を対象に「中学生・高校生体験プログラム～歯の世界に触れてみよう・夏休みの素敵な体験～」を開催し、中高生25名と保護者20名、歯科医師会役員6名を含む、合計51名の方々にご参加いただきました。オープニングに歯周病学分野の小牧基浩教授による講演があり、その後、4班に分かれて希望され

たプログラムへの体験がスタートしました。

体験プログラムは、向井義晴教授の「虫歯を削ってみよう!」、板宮朋基教授の「AR/VRの世界」、星憲幸教授の「最先端デジタル歯科診療とは?」、槻木恵一教授の「口の中のがんをみてみよう!」、讃岐拓郎教授の「歯科麻酔科医ってどんな仕事?」、大平寛准教授の「ドラマの中の法医学」の6つを用意しました。参加者にとってはどれも刺激的で興味を惹く内容だったようで、拍手と歓声が上がっていました。

昼食は、歯学部も参加し、一緒に食事を楽しみました。多くの質問が寄せられましたが、学生たちは笑顔で答えてくれていました。体験プログラム終了後はおやつを用意して懇談の時間を設けたところ、大変好評でした。

終了後のアンケートには、「実際に体験できる内容が多く本人も興味を持って楽しく体験できたようでした」「新しい技術やキャンパスも素晴らしく感動しました」「子どもが望めば受験させます」等、参加者より嬉しいお声を頂戴しました。

「日本犯罪学会賞」受賞

2024年11月30日(土)に開催された第61回日本犯罪学会学術総会において、歯科法医学分野の山田良広教授が「日本犯罪学会賞」を受賞しました。この賞は学会の最高賞で、歯科医師では1988(昭和63)年の鈴木和男東京歯科大学教授(法歯学)以来2人目の受賞となります。

日本犯罪学会は1913(大正2)年に設立、古畑種基・吉益脩夫の両東大教授らによって戦後再建された歴史ある学会で、我が国唯一の犯罪学の総合的学術団体です。

山田教授は従来歯科所見で行われていた歯科的個人識別法に新たにDNA鑑定を取り入れ、より確実な個人識別法を確立したことを評価されての受賞です。教授の榮譽を称えと共にさらなる発展を期待します。



横地千仞名誉教授お別れの会

2024年12月14日(土)、去る8月4日に享年105歳にて永眠された本学名誉教授 横地千仞先生のお別れの会を、本学理事・教職員・同窓生・解剖関係者ら、約80名の参列の下、和やかに執り行いました。

生前、横地先生に「万が一の際は大学でお別れの会を開催致します」とお伝えしたところ、「供花不要・読経不要・焼香不要・合掌不要・惜別不要、賑やかな音楽と、鉛筆一本供えてほしいな」と仰っておられました。また、「堅苦しいから、スーツは嫌いなんだよ」と良くお話しされていました。ユーモア溢れる横地先生の希望を出来る限り叶え、当日は喪服ではなく自由な服装での参列とし、ジャズを生バンドで賑やかに演奏し、献花の代わりに鉛筆を捧げました。

次世代への育成のため、自ら献体された横地先生の解剖学への熱いお志に深く感謝するとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。横地先生のお志は後世に受け継いでまいります。



世界の「デンタルドール」寄贈展示



このたび、本学名誉教授の伊藤春生先生と、伊藤先生のご息女で本学16回生の伊藤由美先生がコレクションされていた世界の「デンタルドール」約100点をご寄贈いただき、キャンパスセンター1階の教学部カウンター前の壁面に展示しました。

ご寄贈いただいたコレクションは、街中の路面店で購入されたものからデザイナーが手掛けた「世界に一つだけの人形」まで、歯科に関連するさまざまな国の人形が集められています。どれも魅力的で国際色豊かな見ごたえのあ



る作品ばかりです。ぜひ足をお運びいただき「A World Tour Through the Dentist Doll Collection」をお楽しみください。

最後に、デンタルドールとお別れの際、「我が子が嫁ぐ心境」と表現された伊藤由美先生へ、大切に保管させていただくとともに、心より感謝申し上げます。



附属病院だより

腎臓病教室を開催しました

2024年11月6日(水)、10階のレストランシーガルで当院腎臓内科通院中の患者さんを対象に腎臓病教室を開催しました。腎臓内科の橋本教授による「腎臓のはたらきと腎臓病について」の講義に続き、伊藤管理栄養士から普段の食事についての注意点や具体的な改善点について説明がありました。また、講義の後には「お出汁」の塩味体験を行い、普段の食事における「減塩」への具体的な取り組みを学んでいただきました。

患者さんからは、普段は知ることができないことを学べたと好評でした。始終リラックスした和やかな雰囲気、診療や栄養指導の際には見えない患者さんの「笑顔」を見ることができました。開催にあたりご協力いただいたレストランシーガルさんをはじめスタッフの皆さま、ありがとうございました。



横浜クリニックだより

2024年度第2回防災避難訓練

2024年10月24日(木)に防災避難訓練を実施しました。

今回は地震を想定し、フロアごとに分かれて屋内から屋外へ避難する訓練を行いました。また、神奈川消防署にご協力をいただき、起震車による地震体験と水消火器による消火訓練も行いました。消火訓練は過去にも何度か行っていますが、いざというときに扱えるよう実際に触れることが大切なため、継続して訓練を行う方針です。起震車では、関東大震災や阪神淡路大震災などの地震の揺れを体験することができ、激しい揺れを体験した職員は、備え付けのテーブルにしがみついたのがやっとでした。起震車のテーブルは固定されていましたが、通常テーブルは固定されていないため、地震の大きさによってはテーブルごと飛ばされてしまう危険性もあると感じました。

後日集計された反省点や感想では、「日頃から消火器の位置を確認しておくことが必要」「体験をしたことで診療室内の危険なもの・通路を塞いでしまう恐れがあるものの対処方法を考えるきっかけとなった」など、防災意識が一層高まったと感じられる意見が寄せられました。今後も定期的に訓練を行い、常に準備を怠らず、安全で安心な医療提供を目指していきます。

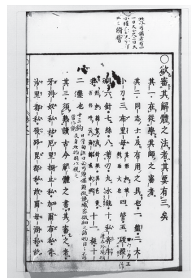


図書館だより

本学所蔵の『解体新書』の書入れが研究対象に！

図書館ホームページで公開している『解体新書』が、書入れの研究をしている村松洋さんの目にとまり、研究対象の一つとして論文で取り上げられました。

本学所蔵の『解体新書』は、村松さんが調査した173組のうち、21番目に印刷された比較的初期のもので、書入れ自体は多くはないものの、巻一の2丁表(3ページ目)に江戸時代の医学塾「究理堂」で筆写されたものと共通する書入れがあるそうです。この書入れは解剖で使用する12種の道具を列記した本文に対し、計測器(尺・権・升)も必要であることを述べており、『解体新書』が当時どのように受け止められたかを知るうえで、興味深い書入れとのことでした。



巻一2丁表の書込み

村松さんは『解体新書』の書入れに関する論文を2編発表していますが、本学所蔵の書入れについての記述があるのは、日本医史学雑誌67巻4号(2021年)に掲載された論文で、日本

医史学会のホームページで全文を閲覧することができます。

本学所蔵の『解体新書』は、図書館ホームページ内の「デジタル古書」からどなたでもご覧いただけます。興味のある方は、ぜひ研究対象になった書入れをチェックしてみてください。

- ・村松洋：『解体新書』究理堂系書入れ本について。日本医史学雑誌, 67(4), 375-397, 2021.
- ・村松洋：書入れ本に見る『解体新書』の受容－医学塾における情報の伝播－。日本医史学雑誌, 70(1), 26-51, 2024.

<デジタル古書 URL>

<http://www.kdu.ac.jp/library/digital/digital.html>



セミナー室開放

2024年11月より図書館1階のセミナー室を開放しました。扉が開いている時はご自由にお使いください。ただし、予約が入った時はご利用いただけませんので、ご了承ください。



入試日程【歯学部】

※詳細は HP をご確認ください。

◇一般選抜 **1期** 2025年1月25日(土)・26日(日) 出願期間 2024年12月11日(水)～2025年1月17日(金)

入学サポート制度!
一般選抜一期受験者のうち
成績上位 **1位～25位**には
学費減免が適用されます!!

| 一般一期成績順位 | 対象者人数 | 減免額 | 入学手続時 | 後期(10月) | 初年度合計 |
|----------|-------|------|--------|---------|-------|
| 1～3位 | 3名 | 395万 | なし | なし | なし |
| 4～8位 | 5名 | 200万 | 127.5万 | 67.5万 | 195万 |
| 9～25位 | 17名 | 100万 | 177.5万 | 117.5万 | 295万 |
| 通常の入学者 | — | なし | 227.5万 | 167.5万 | 395万 |

2期 2025年2月11日(火) 出願期間 2025年1月18日(土)～2月5日(水)

3期 2025年3月2日(日) 出願期間 2025年2月6日(木)～2月25日(火)

◇大学入学共通テスト利用 **1期** 2025年1月25日(土)または26日(日) 出願期間 2024年12月11日(水)～2025年1月17日(金)

2期 2025年2月11日(火) 出願期間 2025年1月18日(土)～2月5日(水)

3期 2025年3月2日(日) 出願期間 2025年2月6日(木)～2月25日(火)

◇卒業生推薦**3期** 2025年3月20日(木) 出願期間 2025年2月26日(水)～3月14日(金)
入学金(60万円)を全額免除

◇編入学**3期** 2025年3月20日(木) 出願期間 2025年2月26日(水)～3月14日(金)
2年次入学

◇特別入学試験 2025年3月20日(木) 出願期間 2025年2月26日(水)～3月14日(金)

入試日程【短期大学部】

※詳細は HP をご確認ください。

◇学校推薦型選抜(指定校・公募)**3期**
2025年1月29日(水) 出願期間 2024年12月10日(火)～2025年1月22日(水)

◇社会人選抜 **5期** 2025年1月29日(水) 出願期間 2024年12月10日(火)～2025年1月22日(水)

6期 2025年2月21日(金) 出願期間 2025年1月23日(木)～2月17日(月)

7期 2025年3月13日(木) 出願期間 2025年2月18日(火)～3月10日(月)

◇一般選抜・特待生選抜 2025年2月13日(木) 出願期間 2025年1月23日(木)～2月4日(火)

◇総合型選抜 **4期** 2025年2月21日(金) 出願期間 2024年12月10日(火)～2025年2月17日(月)

5期 2025年3月13日(木) 出願期間 2025年2月18日(火)～3月10日(月)

入試日程【大学院】

※詳細は HP をご確認ください。



歯学研究科 定員: 18名

| | |
|------|---|
| 試験区分 | 2期(約8名) 学内推薦選抜(神奈川歯科大学卒)、 一般選抜、社会人特別選抜、 特待生選抜、外国人留学生選抜 |
| 試験日 | 2025年2月14日(金) |
| 合格発表 | 2025年2月28日(金) 午後2時 HP上 |

◇**2期** 学内推薦選抜(神奈川歯科大学卒)
一般選抜、社会人特別選抜、特待生選抜、外国人留学生選抜
2025年2月14日(金) 出願期間 2024年12月18日(水)～2025年1月27日(月)

オープンキャンパス開催日程

| 歯学部 | 短期大学部 |
|----------|---------|
| 日程 | 日程 |
| 3月24日(月) | 3月9日(日) |

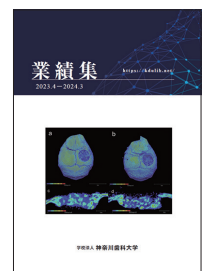
※13:00～16:00【事前予約制】
※詳細は HP をご確認ください。

「業績集の PDF 版公開

「業績集 2023.4-2024.3」の PDF 版を公開しました。研究業績 WEB 版サイト内にリンクがありますので、アクセスしてご利用ください。下記 QR コードからもご覧いただけます。

●研究業績 WEB 版サイト
URL: <https://kdulib.net/searchform.php>

●業績集 2023.4-2024.3 (PDF 版)
URL: <https://kdulib.net/pdf/gyoseki202304.pdf>



神奈川歯科大学 歯学部
神奈川歯科大学 短期大学部
神奈川歯科大学 大学院

入試係 ☎ 046-822-9580
入試係 ☎ 046-822-8826